

2010年(平成22年)3月期 第2四半期決算説明会

2009年4月1日～2009年9月30日

NJK 株式会社 エヌジェーケー
CORPORATION


2009.11.6

■ 当第2四半期(2009年度)の業績	2	■ 通期(2009年度)の業績予想	19
業績サマリー	3	業績予想サマリー	20
セグメント別 業績	4	セグメント別 業績予想	21
各事業の概況	5	各事業の概況	22
会社別業績	14	会社別業績予想	29
貸借対照表(連結)	15		
損益計算書(連結)	16	■ 付属資料	30
キャッシュ・フロー(連結)	17	会社概要	31
セグメント別受注実績(連結)	18		

本資料に記載されております計画、予測、戦略等の内、結果的事実でないものは、当社グループの業績に関する見通し及び目標であり、これらは現在入手可能な情報をもとに当社の経営陣が判断しているものであります。

したがいまして、これらの見通し及び目標に全面的に依拠することは控えて頂きますようお願い致します。事業業績は、経済情勢、顧客の属する業界での変化・変革(ただしこれらに限られない)など、事業を取り巻くさまざまな要因に影響され、これら見通し及び目標とは大きく異なる可能性があります。

(本資料の数字は単位未満切り捨てで表示しています。)



当第2四半期(2009年度)の業績

業績サマリー(連結)

景気後退の影響による
情報化投資の急減により、減収減益

(単位:百万円)

	07年度/2Q (2007.9期)	08年度/2Q (2008.9期)	09年度/2Q (2009.9期)	増減 (前期比)
売上高	7,025	6,395	4,549	△1,846 △ 28.9%
営業利益	358	399	△334	△733 —
経常利益	437	431	△261	△693 —
純利益	202	505	△163	△669 —
ROE(%)	2.03	4.95	△1.59	△6.54
EPS(円)	14.34	35.55	△11.69	△47.24

主力のソフトウェア開発事業が大幅な受注減により減収、営業赤字

		07年度/2Q (2007.9期)	08年度/2Q (2008.9期)	09年度/2Q (2009.9期)	増減 (前期比)	
売上高	ソフトウェア開発	5,027	4,678	3,160	△1,518	△ 32.4%
	ネットワーク機器・システム商品販売	1,218	741	594	△146	△ 19.8%
	オリジナルパッケージ開発及び販売	535	703	587	△115	△ 16.4%
	ハードウェア組立	226	258	193	△65	△ 25.3%
	その他	18	13	13	△0	△ 3.8%
	合計	7,025	6,395	4,549	△1,846	△ 28.9%
営業利益	ソフトウェア開発	464	429	△250	△679	—
	ネットワーク機器・システム商品販売	11	△38	△35	+3	—
	オリジナルパッケージ開発及び販売	△124	2	△47	△50	—
	ハードウェア組立	△8	△3	△9	△5	—
	その他	14	11	7	△4	△35.7%
	合計	358	399	△334	△733	—

ソフトウェア開発事業の概況

業務アプリケーション

× エンドユーザーの投資抑制に伴い開発案件の先送りや規模の縮小が顕著となり、またプライマリ（元請け企業）からの受注も大きく減少した

× 金融機関向け顧客常駐サービスは、案件の先送りや打ち切りに加え、案件レベルでは要員の減少が続いた

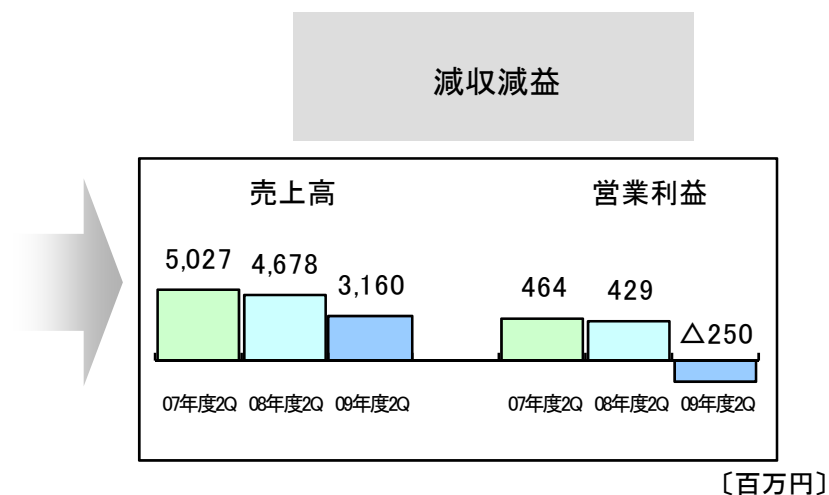
組込ソフトウェア

× 携帯電話端末ソフトは、携帯電話市場の停滞の影響により受注が低迷し、通信システム関連やデジタル家電関連もメーカーの新規投資の抑制や、内製化へのシフトなどにより受注が減少した

〔共通〕

— 受注の減少に伴い、協力会社要員の自社要員への切り替えを進めた

⇒ 外注加工費 815百万円〔前年同期比△643百万円〕



ソフトウェア開発事業の概況

顧客グループ別売上高

[百万円]

	08年度/2Q (2008.9期)			09年度/2Q (2009.9期)		増減 (前期比)	
	売上高	構成比		売上高	構成比		
NTTデータグループ	1,384	29.6%	↘	788	25.0%	△596	△4.6p
NTTグループ	754	16.1%	↘	623	19.7%	△130	+3.6p
ソニーグループ	726	15.5%	↘	443	14.0%	△282	△1.5p
銀行・証券・保険	433	9.3%	↘	310	9.8%	△122	+0.5p
パナソニックグループ	271	5.8%	↘	170	5.4%	△100	△0.4p
JR東日本グループ	67	1.4%	↗	157	5.0%	+89	+3.6p
東芝グループ	293	6.3%	↘	139	4.4%	△153	△1.9p
NECグループ	261	5.6%	↘	113	3.6%	△148	△2.0p
その他	485	10.4%	↘	412	13.1%	△72	+2.7p
合計	4,678	100.0%		3,160	100.0%	△1,518	

ソフトウェア開発事業の概況

主なシステム分野別売上高

[百万円]

	08年度/2Q (2008.9期)		09年度/2Q (2009.9期)		増減 (前期比)
	売上高	構成比	売上高	構成比	
基幹業務アプリケーション	1,845	39.4%	1,077	34.1%	△768 △5.3p
携帯電話端末ソフト	751	16.1%	598	18.9%	△153 +2.8p
通信システム関連	446	9.5%	412	13.1%	△ 33 +3.6p
デジタル家電・情報家電関連	690	14.8%	379	12.0%	△311 △2.8p
ERPパッケージ導入支援関連	247	5.3%	216	6.8%	△ 30 +1.5p
道路交通・カーエレクトロニクス	113	2.4%	78	2.5%	△ 35 +0.1p
Webアプリケーション	88	1.9%	76	2.4%	△ 11 +0.5p
その他	495	10.6%	322	10.2%	△173 △0.4p
合 計	4,678	100.0%	3,160	100.0%	△1,518

ネットワーク機器・ システム商品販売事業の概況

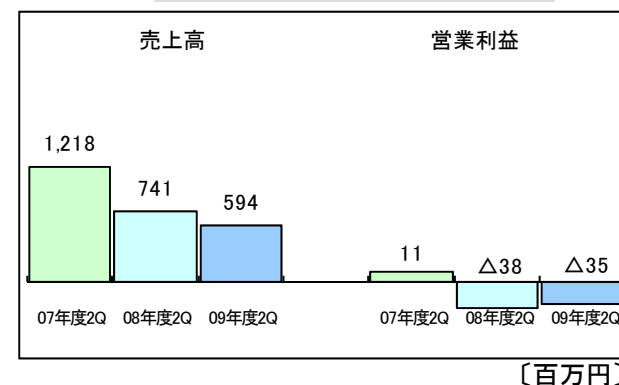
×

顧客企業の情報化投資の抑制が続き、PCなどの受注が低調に推移した

△

文教関連でソリューション案件を獲得したことなどにより
売上総利益率は上昇した

減収、
営業損失は前年同期並み



オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

サマリー

○

OCRソフト関連（メディアドライブ）は、複合機向けのライセンス販売が好調を維持し、業務効率化、コスト削減といったキーワードとともに、法人向けOCRソリューションの受注やコンシューマ向け流通製品の販売も堅調に推移した

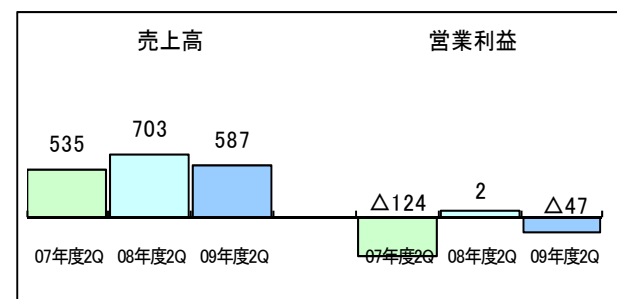
△

Natureシリーズは、顧客企業の投資抑制などにより案件が減少し、売上高を伸ばすことができなかった

×

マンション管理システムは、上期に見込んでいた大口案件が下期に先送りとなり、前年同期に比較して売上高が大きく減少した

減収、営業損失



〔百万円〕

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

Natureシリーズ

△ 前期からの継続案件を獲得したが、顧客企業の投資抑制が顕著となり新規の案件が減少した

△ DataNature/Eは、アウトプット、運用管理・セキュリティ、データハンドリングなど、ユーザの使いやすさの機能を強化したバージョンアップを行った

主なNatureシリーズの販売本数

製品名	09年度/2Q		08年度 (参考)
	計画	実績	
DataNature/E	42	30	67
DataNature 6	430	387	1,488

BUIソリューション

× 個人向けサービスは利用者の増加に時間を要しており、法人向けサービスも引き合いはあるものの、受注の増加には至っていない

(注) BUIソリューションとは、「Natureシリーズ」としてパッケージ製品化してきた当社の独自技術BUI（ボタン・ユーザ・インターフェイス：日米欧で特許技術）をビジネス・インテリジェンス・ソリューション以外の用途、分野で利用するために、コアの技術をアプリケーションとして提供するものです。

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

マンション管理システム

△ 上期に獲得を予定していた大型案件が下期に先送りになったために、受注が減少した

△ 引き続きセミナーの開催による引き合いの増加と、システムの機能改善のための開発を行った

セマンティックソリューション

× 大口案件などの引き合いはあるものの、獲得には至っていない

KURAGE (電子機器向け動作確認ロボット)

△ 展示会への出展などにより新規取引先の獲得に向けた営業活動を推進した

(注) KURAGEについては会計上ソフトウェア開発事業セグメントに含めております

マンション管理システムの販売セット数

製品名	09年度/2Q		08年度 (参考)
	計画	実績	
FMS-V2	4	2	10
FMS-Info	1	0	3
FMS-工事	1	0	1

FMS-V2 : 管理組合収納・会計システム

FMS-Info : マンション管理会社のフロント業務
を支援するマンション総合情報システム

FMS-工事 : 総合工事管理、工事履歴管理などの
工事管理システム

企業情報の総合プラットフォームDInqs
ラインナップ

DInqs IR : 適時開示情報分析システム

DInqs FR : 有価証券報告書分析システム

DInqs PR : 大量保有報告書システム

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況 (メディアドライブ)

OCRソリューション

- 選挙投票用紙認識分類ソフトなどの継続案件に加え、医療向け、文教向けなどのソリューション案件が堅調に推移した

ライセンス販売

- 複合機メーカー向けのライセンス販売は、安定して推移した

パッケージ流通

- 店頭流通市場の低迷が継続しているなか、「やさしく名刺ファイリング」や「e. Typist」などの自社製品や他社向けのOEM供給が順調に推移した

主なOCRパッケージの販売本数

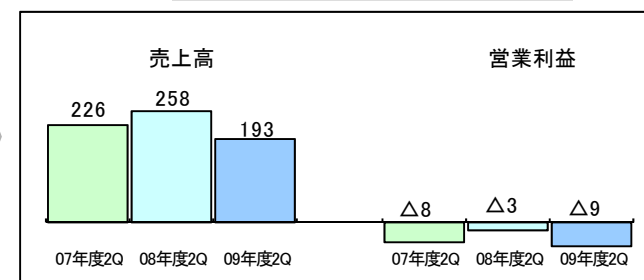
製品カテゴリ	09年度/2Q		08年度 (参考)
	計画	実績	
やさしく名刺ファイリング	5,400	6,756	13,486
e. Typist	1,400	1,606	4,303
やさしくPDFへ文字入力	1,900	2,843	5,747

ハードウェア組立事業の概況 (NJKテクノ・システム)

×

新規取引先からの受注は徐々に増加するものの、
主要取引先からの受注が大きく減少した

減収、赤字継続



[百万円]

会社別業績

		〔百万円〕			
		売上高	営業利益	経常利益	純利益
NJK(個別)	2007.9期	6,348	306	416	208
	2008.9期	5,644	315	385	500
	2009.9期	3,862	△404	△307	△165
NJKテクノ・システム	2007.9期	403	16	17	14
	2008.9期	385	4	5	3
	2009.9期	350	△6	△5	△16
メディアドライブ	2007.9期	367	34	35	18
	2008.9期	427	81	83	45
	2009.9期	425	75	77	45

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	08年度 (2009.3期)	09年度/2Q (2009.9期)	増減 (前期末比)
流動資産	10,642	9,674	△968
固定資産	4,194	4,107	△87
資産合計	14,837	13,781	△1,055
流動負債	2,723	2,369	△353
固定負債	1,641	1,402	△238
負債合計	4,364	3,771	△592
株主資本	10,856	10,448	△408
評価・換算差額等	△384	△438	△54
純資産合計	10,472	10,009	△462
負債、純資産合計	14,837	13,781	△1,055

資産の減少

流動資産の減少は、「売掛金」の減少などによるものです。
固定資産の減少は、「投資有価証券」の売却などによるものです。

負債の減少

流動負債の減少は、「買掛金」の減少などによるものです。
固定負債の減少は、「長期借入金」の返済などによるものです。

純資産の減少

配当金の支払いや四半期純損失の計上に伴う「利益剰余金」の減少、自己株式の取得などによるものです。

自己資本比率

08年度末	70.6%
09年度/中	72.6%

損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	08年度/2Q09年度/2Q		増減	
	(2008.9期)	(2009.9期)	(前期比)	
売上高	6,395	4,549	△1,846	△ 28.9%
売上原価	4,649	3,552	△1,096	△ 23.6%
売上総利益	1,746	996	△749	△ 42.9%
販売費及び一般管理費	1,346	1,330	△16	△ 1.2%
営業利益	399	△334	+733	—
営業外損益	32	72	+39	122.1%
経常利益	431	△261	△693	—
特別損益	59	12	△47	△ 79.8%
税金等調整前当期純利益	491	△249	△741	—
法人税等	△15	△86	△71	—
少数株主利益	1	—	△1	—
四半期純利益	505	△163	△669	—

売上原価の減少

売上原価は売上高の減少に伴い減少しております。売上原価の減少の主なものは、ソフトウェア開発事業の外注加工費、労務費、ネットワーク機器・システム商品販売事業の商品仕入高などです。

販管費の減少

販管費の減少の主なものは、製品開発へのシフトに伴う研究開発費の減少や、下半期に向けた社員募集費の減少などです。

営業外損益の主な内訳

主な営業外損益は次のとおりです。

08年度/中	
受取利息	+39百万円
投資有価証券評価損	△30百万円
09年度/中	
受取利息	+14百万円
投資有価証券評価益	+22百万円
投資有価証券売却益	+20百万円

特別損益の主な内訳

主な特別損益は次のとおりです。

08年度/中	
有形固定資産売却益	+84百万円
投資有価証券評価損	△16百万円
09年度/中	
貸倒引当金戻入額	+15百万円

キャッシュ・フロー（連結）

（単位：百万円）

	08年度/2Q (2008.9期)	09年度/2Q (2009.9期)	増減 (前期比)
営業キャッシュ・フロー	361	134	△227
投資キャッシュ・フロー	△131	363	+494
財務キャッシュ・フロー	△99	△440	△340
現金及び現金同等物の 増減額	130	57	△72
現金及び現金同等物の 期末残高	5,993	5,761	△232

営業キャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純損失を計上したことなどにより前年同期に比較して減少しております。

投資キャッシュ・フロー

製品のバージョンアップ等、オリジナルパッケージ開発及び販売事業におけるソフトウェアの開発の増加により無形固定資産の取得による支出が増加する一方、固定性預金の払戻額が増加したことなどにより前年同期に比較して増加しております。

財務キャッシュ・フロー

長期借入金の約定弁済を行い、また、配当金の支払いや自己株式の取得に支出しており、前年同期に比較して減少しております。

セグメント別 受注実績（連結）

（単位：百万円）

		07年度/2Q (2007.9期)	08年度/2Q (2008.9期)	09年度/中 (2009.9期)	増減 (前期比)
ソフトウェア開発	受注高	5,287	4,019	2,800	△1,219
	受注残高	3,747	3,267	2,320	△946
ネットワーク機器・ システム商品販売	受注高	1,108	744	520	△224
	受注残高	41	84	32	△52
オリジナルパッケージ 開発及び販売	受注高	558	680	556	△124
	受注残高	57	98	88	△9
ハードウェア組立	受注高	239	242	204	△38
	受注残高	48	33	53	+19
合 計	受注高	7,192	5,687	4,081	△1,606
	受注残高	3,894	3,484	2,494	△989

※上記の表は、その他事業セグメントを除いております。

■ 通期(2009年度)の業績予想

業績予想サマリー(連結)

情報化投資の需要の回復は鈍く、
厳しい事業環境が継続

(単位:百万円)

	07年度 (2008.3期)	08年度 (2009.3期)	09年度 (2010.3期)	増減 (前期比)	
売上高	14,019	12,843	10,000	△2,843	△ 22.1%
営業利益	829	808	△40	△848	—
経常利益	794	773	140	△633	△ 81.9%
当期純利益	321	687	100	△587	△ 85.5%
ROE(%)	3.21	6.71	1.00	△5.71	
EPS(円)	22.74	48.30	7.24	△41.06	
配当金(円)	12.00	12.00	9.00	△3.00	

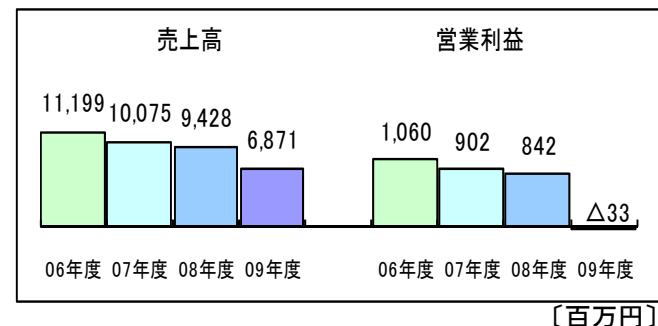
セグメント別 業績予想(連結)

ソフトウェア開発事業は厳しい環境が続くが、
オリジナルパッケージ開発及び販売事業は通期で増益

(単位:百万円)

		07年度 (2008.3期)	08年度 (2009.3期)	09年度 (2010.3期)	増減 (前期比)	
売上高	ソフトウェア開発	10,075	9,428	6,871	△2,557	△27.1%
	ネットワーク機器・システム商品販売	2,177	1,529	1,345	△184	△12.1%
	オリジナルパッケージ開発及び販売	1,240	1,379	1,364	△15	△1.1%
	ハードウェア組立	486	478	393	△85	△17.9%
	その他	38	26	27	+0	0.4%
	合計	14,019	12,843	10,000	△2,843	△22.1%
営業利益	ソフトウェア開発	902	842	△33	△875	—
	ネットワーク機器・システム商品販売	4	△41	△46	△4	—
	オリジナルパッケージ開発及び販売	△92	1	55	+53	—
	ハードウェア組立	△18	△13	△2	+11	—
	その他	30	19	△14	△33	△171.6%
	合計	829	808	△40	△848	△104.9%

ソフトウェア開発事業の概況



業務アプリケーション

景気の先行きの不透明感を払拭できない状況のなかで、各業種、各分野で投資抑制傾向が継続する

- プライマリへの密着度を高め、計画案件に対し早期提案を行うことにより、より多くの要員の参画を図る
- 証券、生損保などの金融機関向け案件には、きめ細かい営業を行い、既存案件の増員とスポット案件の獲得により受注を積み上げる
- 業種や分野を固定せず、自社の保有技術を武器に、より情報化投資の見込めるお客さまへのアプローチを強める

組込ソフトウェア

各分野ともメーカーの投資抑制や内製化が継続しており急激な需要の回復は期待できない

- 既存のお客さまへの営業を強化し案件の追加獲得を図る
- 短期の開発案件や小規模の案件についても取りこぼしなく受注していく

[共通]

受注量の低迷、受注単価の下落、競合の激化など、事業環境は厳しいまま推移する

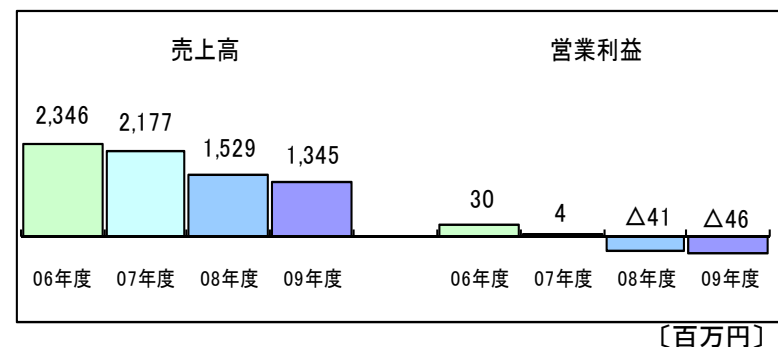
- 社内の部門間で今まで以上に営業情報を共有するなど意思疎通を図った営業を展開するとともに、稼働管理、採算管理のより一層の徹底を図る
- 今後の布石としてスキルアップや新技術の習得を目的とした研修、グループ活動を活性化させる

ネットワーク機器・ システム商品販売事業の概況

景気の急激な回復は見込めず、お客さまの
情報化投資は低調のまま推移する

文教、自治体向けは不透明ながらも案件
が見込める

- ビジネスパートナーと連携しソリューション案件の獲得を図る
- 導入支援や保守などの付帯サービスの提案も積極的に進める
- 当社グループの営業の要として他事業や子会社の営業と連携した営業活動を継続して進める



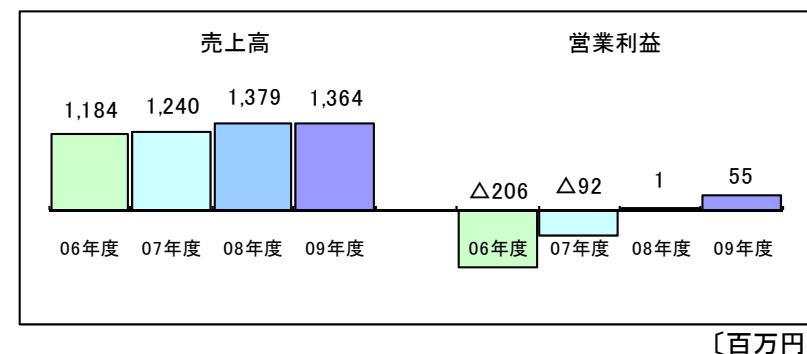
オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

サマリー

OCRソフト関連は堅調を継続し、利益のさらなる増加を図る

Natureシリーズとマンション管理システムは上期の挽回を図る

その他のカテゴリでは、ターゲットを絞った具体的な提案活動を推し進め
採算ラインに向けた案件の獲得に努める



オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

Natureシリーズ

“BI”をキーワードに情報分析ニーズは今まで以上に広がりを見せていく

投資抑制傾向が強まり、BIツールもコスト削減をテーマとしたニーズへの対応が求められる

マンション管理システム

マンション管理業務の適正化・効率化や管理組合ごとのきめ細かな対応が求められる

■ 主なNatureシリーズの目標販売本数

製品名	上期実績	下期計画	通期計画
<i>DataNature/E</i>	30	75	105
<i>DataNature 6</i>	387	573	960

- Natureシリーズの価格優位性を武器にコスト削減を切り口として、セミナー営業を推進し告知活動を拡充する
- BP営業を強化し新バージョン「*DataNature/E ver3.2*」(2009年8月発売)の拡販に注力する
- さらなる性能の向上や機能の拡充に向けた製品化を進める

■ マンション管理システムの目標販売セット数

	上期実績	下期計画	通期計画
FMS-V2	2	14	16
FMS-Info	0	3	3
FMS-工事	0	2	2

- 上期からの見込み案件の確実な受注を行う
- マンション管理適正化法の改正に対応した製品のバージョンアップを実施する

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況

BU I ソリューション

携帯電話を活用するデータ活用アプリケーションの
需要が広がる

- 法人向けは、BU I を活用したソリューション案件の獲得や、引き合いのある「快速！交通費」などのASPサービスの販売を進める
- 個人向けは、他の媒体・商品と連携した宣伝、広告を活用して利用者の増加をもくろむ

セマンティックソリューション

XBR Lの導入や四半期報告書制度の開始などにより、より迅速な企業開示情報の分析ニーズが広がる

- DInqs（企業情報の総合プラットフォーム）は、専門情報提供サービス会社へのデータ提供などの大口案件の獲得を図る
- 証券会社、監査法人など、情報の利用頻度の高い企業などへの拡販を引き続き展開する

KURAGE（電子機器向け動作確認ロボット）

電子機器の高度化、多機能化が進む一方、開発コストと品質の管理が強化される

- 展示会などによる告知活動を進めて引き合い案件を増やし、受注につなげる

オリジナルパッケージ開発 及び販売事業の概況 (メディアドライブ)

OCRソリューション

投資抑制のため、業務の効率化、コスト削減などの傾向が継続する中で紙文書の電子化ニーズは増加する

- 医療、文教関連、本人確認などの引き合いの多い分野をターゲットに特徴的なソリューションを提案し、ニーズの掘り起こしを図る
- 画像検索、音声検索などの独自技術を活かした受託案件の獲得に注力する

ライセンス販売

複合機自体の販売の伸長が見込みにくい状況が続く

- 既存のライセンス契約の継続と新たな連携の獲得に努める
- スキャナや文書管理関連ソフトウェアなど複合機以外の製品へのバンドルにも注力する

パッケージ流通

縮小した店頭流通市場では、ニーズに合致した話題性のある製品が求められる

- 新製品「やさしく家計簿」や既存製品のバージョンアップにより拡販を図る
- 主なOCRパッケージの目標販売本数

製品名	上期実績	下期計画	通期計画
やさしく名刺ファイリング	6,756	5,344	12,100
e.Typist	1,606	2,194	3,800
文字入力フォーム	2,843	1,157	4,000

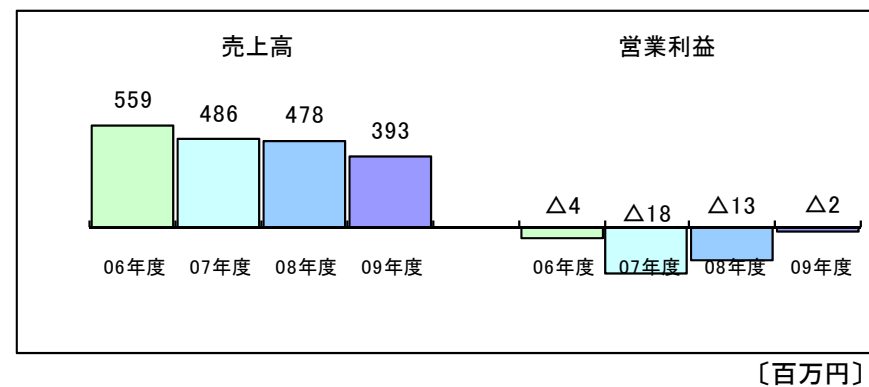


ハードウェア組立事業の概況 (NJKテクノ・システム)

主要取引先からの受注の低迷に回復の兆しが見えない



- 主要取引先からの受注をとりこぼしなく確保するとともに、引き続き新規取引先からの受注の増加を図る



会社別業績予想

〔百万円〕

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
NJK(個別)	2008.3期	12,497	650	627	244
	2009.3期	11,364	620	605	600
	2010.3期	8,620	△188	△18	20
NJKテクノ・システム	2008.3期	811	17	22	18
	2009.3期	740	6	9	△9
	2010.3期	640	△12	2	△10
メディアドライブ	2008.3期	886	158	162	90
	2009.3期	890	179	184	125
	2010.3期	900	160	168	100



付属資料

会社概要

経営の基本方針

「健全なコンピュータ・ネットワーク社会の実現に向けて、常に最適なソリューションを提供し続ける」

株式会社 エヌジェーケー

本社 : 東京都目黒区
 設立 : 昭和48年11月
 上場日 : 平成13年11月6日
 市場 : 東京証券取引所市場第2部
 資本金 : 42億2242万5000円
 従業員数 : 701人(平成21年9月末日)
 事業内容 : ソフトウェア開発
 ネットワーク機器・システム商品販売
 オリジナルパッケージ開発及び販売

連結子会社

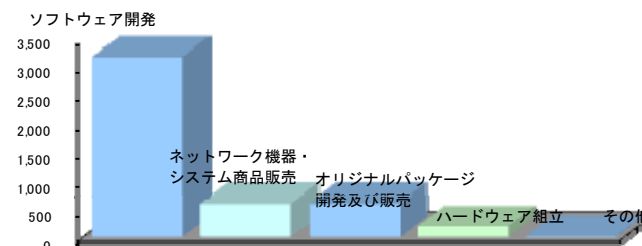
メディアドライブ(株)

設立 : 平成3年11月
 資本金 : 4億円
 事業内容 :
 オリジナルパッケージ開発及び販売
 ネットワーク機器・システム商品販売
 ソフトウェア開発

エヌジェーケーテクノ・システム(株)

設立 : 昭和44年6月
 資本金 : 7,978万円
 事業内容 : ハードウェア組立
 ソフトウェア開発

当中間期の売上高(百万円)と従業員数(人)



	売上高	従業員数	計				
売上高	3,160	594	587	193	13	4,549	
従業員数	614	28	76	15	1	共通 52	786
執行会社	NJK						
	メディアドライブ						
	NJKテクノ・システム						

- ・ソフトウェア開発事業 : 基幹系システム関連、セキュリティ関連、Web関連、モバイル関連、データベース関連、ネットワーク関連などのシステムの開発やテクニカル支援サービス
- ・ネットワーク機器・システム商品販売 : 情報関連機器の販売及びネットワークシステムコンサルティング・設計・導入設置・保守・運用支援・その他サービス、TV会議システムなどの各種システム商品の販売
- ・オリジナルパッケージ : 文字画像認識ソフト、音声認識合成ソフト、ファイリングソフト、BUI技術を使用したNatureシリーズ及びBUIソリューション、マンション管理システム、セマンティックソリューションなどのオリジナルパッケージソフトの開発・販売
- ・ハードウェア組立 : 各種電子基板及びコンピュータ関連機器の組立ならびに検査
- ・その他 : 不動産賃貸